

contents

| | |
|---|-------|
| 〈展覧会紹介〉「風景画のはじまりーコローから印象派へー」 | [2～3] |
| 〈イベント報告〉Reborn2 V 「福井発 アートを変革したシュルレアリストたち 出店久夫 他」 | [4～5] |
| 「手塚雄二展 光を聴き、風を視る」 | [6] |
| Reborn2 III 「絵画の変革！江戸から明治へ ～狩野派の終わり、日本画の始まり～」 | [7] |
| Reborn2 IV 「新時代を描いた奇想の絵師 岩佐又兵衛ー館蔵コレクションー挙公開！」 | [7] |
| 福井県立美術館友の会「令和元年度 秋の見学会」 | [8] |
| 次回展覧会のお知らせ | |
| 美術館喫茶室ニホ特別メニューのお知らせ | |
| 令和2年度 実技講座受講生・友の会会員募集のお知らせ | |
| 休館日のお知らせ | |

表紙：ウジェーヌ・ブーダン (1824-1898) 《トルーヴィルの浜辺》(部分) 油彩/カンヴァス Inv. 949.1.68 ©MBA Reims 2019/Photo:C.Devleeschauer
「風景画のはじまり」展より



※展覧会内容、記載内容については変更することがありますのでご了承ください。最新の情報は、美術館ホームページ、電話でご確認ください。

フランス美術館コレクション 風景画のはじまり

2020
4.18(土) ▶ 5.24(日)

開館時間/午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日/月曜日(祝祭日を除く)
主催/福井県立美術館 共催/福井新聞社、福井テレビ
後援/在日フランス大使館/アンスタド・フランス日本 協力/日本航空
企画・監修/フランス美術館 Exposition produite et gérée par le Musée des Beaux-Arts de la Ville de Reims en France.
企画協力/フランク・ラス

【前売券】一般1,200円
展覧期間/4月18日(土)～4月17日(金)
観覧券別売/小学生以下500円(小学生以下は別途入館料あり)
【当日券】一般1,400円(団体1,120円)
高校生800円(団体640円)
小学生500円(団体400円)
※団体20名以上、観覧券別売の団体名は別途 申込要(要予約)

Chapter 1 コローと19世紀風景画の先駆者たち

Corot et les précurseurs du paysage au XIX^e siècle



01

アトリエで再構成された古代風景
風景画が下絵だと見られたこの時代、自然の中に神話や古代の場面を描き込む必要があった。自然に人を盛り込ませて描く新しい写実的な風景画が生まれ、バルビゾン派の先駆けとなった。
ジャン・バティスト・カミーユ・コロー (1797-1862)
(風景) 1820年 油彩/カンヴァス Inv. D. 901.1.1



02

夢のように美しい旅の思い出
鉄道の発達、チューヴ入り絵具の発明により、戸外にイーゼルを立てて描くことが広まった。コローはアトリエで作品を完成させてはいたが、イタリアやフランス中を旅する際に、屋外制作を行った最期の画家のひとりである。フランス美術館はフランス国内でルーヴル美術館に次ぐコロー作品のコレクション数を持つ。本展でも16作品が一堂に会す。
ジャン・バティスト・カミーユ・コロー (1797-1862)
(イタリアのダンス) 1865-70年 油彩/カンヴァス Inv. 007.0.1



03

見えるものしか描かない
リアリズム(写実主義)の代表画家ターヘルが描く、ありのままの自然。きわめて写実的にスイスの山岳地帯を捉えた一枚は、再現された光景の確実さにかかわらず、詩的な雰囲気を持っていない。
ジャン・バティスト・カミーユ・コロー (1797-1862)
(シヤ・山の深窓(晩年)) 1875年頃 油彩/カンヴァス Inv. 007.10.73

Chapter 2 バルビゾン派 L'École de Barbizon



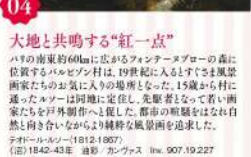
04

大地と共鳴する“紅一点”
パリ以南約60kmに広がるフォンテーヌブローの森に位置するバルビゾン村は、19世紀に入るとますます風景画家たちのお気に入りの場所となった。15歳から村に運ったモーネは同様に定住し、先駆者として若い画家たちを戸外制作へと促した。都市の喧騒をはなれ自然と向き合いながらより純粋な風景画を追求した。
テオドール・モネ (1812-1867)
(田) 1842-43年 油彩/カンヴァス Inv. 007.10.227



05

湿った大地、森の秋、匂い、温度
バルビゾン派のなかでも最も有名な動物画家であるトワゾワンの多くの注文を受け外国でも展覧会が行われた。彼の風景画に半年もして農民が登場するのは、オランダやベルギーに滞在したのものと一致。豊かな市民階級が現れ、いち早く風景画や動物画が人気となった17世紀オランダの伝統を復活させたのである。
ユースト・トワゾン (1810-1866)
(バルビゾン、乾草の野の晩秋) 1855年 油彩/板 Inv. 007.19.234



06

いま何時かまで分かる! 時の風景画
コローの友人であるアルビニーは19世紀後半に活躍した有名な風景画家。作家のアナトール・フランスは彼のことを「田園風景と田舎のミケランジェロ」と呼んだ。季節感の表し方や光線の処理、一日のさまざまな時間を切り描くことに重点を置いていた。
アンリ・ジョゼフ・アルビニー (1810-1916)
(ヨルヌの思い出、サンニエヴリからプレノへの道) 1885年 油彩/カンヴァス Inv. 007.19.128



Chapter 3 画家＝版画家の誕生 L'avènement des peintres-graveurs



07

戸外制作をする新しい画家の姿
アルフレッド・ジエ (1820-1889)
(風景画家としてのアルフレッド・ジエ) 1876年
エッチング/板 個人蔵

Chapter 4 ウジェーヌ・ブーダン Eugène Boudin



08

またの名は「空のラファエロ」
戸外制作の先駆者の一人であった画家ブーダンの絵の中で光を追求した結果、瞬間の表現が現れた。ブーダンが求めたのは、「大空の中で泳ぎ回ること、雲の織り目に到達すること、雲の質感、青空の灰色がかかった雲の中、十分遠く配して、音をばっと聞かせること」(日記、1856年)。ブーダンは、若き日のモネを、野外制作へと導いたことも知られる。天候の変化までも察知したというこの画家を、コローはこう呼んだ。「空の王者」ブーダン!
ウジェーヌ・ブーダン (1824-1906)
(海岸の朝の雲) 1890-95年 油彩/カンヴァス Inv. 007.19.33



10

印象派ピサロ最高峰の一点
晩年のピサロは、パリの風景に取り組み、1900年にはモン・オファ橋のほとりに一室を借り、モネと同じくモネの空気の運命に専念している。本作は晩年の最後に位置づけられるもので、真面中程に雲層積、その奥にルーヴル美術館を描いている。1903年には新たな部屋を借り、連作をさらに発展させようとしたが、この年の11月、ピサロは73歳で命を落した。コローからモネまでのフランス風景画の歩みを体現した1枚がここに選ばれた。
カミーユ・ピサロ (1830-1903)
(ルーヴル美術館) 1902年 油彩/カンヴァス Inv. 007.19.208

モネが愛した“美しい島”の傑作
1886年秋、アルジェの“ベルメール”に赴いたモネは、「手つかずの海岸」に取り組み、画家は、一定の視点から一日の異なる時間帯の光と色を抽出し色彩を研究するた。数枚のスケッチを経て制作した。本作の風景を構成する様々な要素で彩られた外観の研究は、過ぎ去る時間に対する画家の執拗な探求を示している。こうした研究を深めたモネは、晩年、ほとんと抽象化された連作(聯作)に至る。
カミーユ・ピサロ (1830-1903)
(ベルメールの崖) 1886年 油彩/カンヴァス Inv. 007.19.191

コロロから印象派へ
この春、フランス絵画の宝庫として知られる、フランス美術館(フランス)から、選りすぐりのコレクション約70点が、福井にやってきました。パリにほど近いフォンテーヌブローの“森”を愛したカミーユ・コローとバルビゾン派から、ウジェーヌ・ブーダンのもとノルマンディーの“海”に集った仲間たち。そして絵画に色彩と光の革命をもたらした、クロード・モネ、ピエール＝オーギュスト・ルソー、カミーユ・ピサロら“印象派”へ。画家たちは、屋外での制作を通して、神話や聖書などの物語の背景でしかなかった景色や自然のものに、大きな可能性を見出し出でゆきます。本展は19世紀フランス風景画の彼れを一望できる、またない機会となります。名画の数々でたる「印象派への道」を心ゆくまで堪能ください。

Chapter 5 印象主義の展開 Le développement de l'impressionnisme



09

人肌を描くように森を描く
メルマン・グーロワやフォンテーヌブローの森は、ルソーの芸術的風景画によって非常に重要であり、画家は戸外で制作し続けた。本作は小規模の絵画であるが、生き生きとした、かつ正確なディテールに注目したい。
ピエール＝オーギュスト・ルソー (1841-1919)
(風景) 1890年頃 油彩/板に貼り付けたカンヴァス Inv. 040.1.01



11

Reborn2 変革と新時代V

テーマ展

福井発 アートを変革した シュルレアリストたち

出店久夫 他

2020 2/7(金)→3/15(日)

主催 福井県立美術館

福井県立美術館では2月7日(金)から3月15日(日)まで、「福井発 アートを変革したシュルレアリストたち 出店久夫 他」展を開催しました。

本展では、福井出身のフォトシュルレアリスト・出店久夫の創作活動の全貌を回顧、併せて、小牧源太郎、寺田秋明、古沢岩美等本県に関連するシュルレアリストたちの作品を紹介しました。

本展関連イベント「ギャラリートーク」等、作家の活動を検証するイベントも行われ、多くの方々にご来場いただきとともに、雑誌、新聞、ラジオ等のメディアで大きく取られ、沢山の反響をいただきました(※開催を予定していた「対談『出店久夫の世界を語る』(3月1日(日)午後2時〜)」、「ギャラリートーク」(3月8日(日)午後2時〜)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止させていただきました)。

ご来場いただいた皆様にご場を借りて、お礼申し上げます。



出店久夫(2018年72歳)



3月1日、2019年の秋の展覧会を飾っていたフォトコラージュの追加展示を実施。約200点のフォトコラージュからなる巨大なインスタレーションが完成しました。



ギャラリートーク風景

出店久夫氏やシュルレアリスムについて解説後、深層心理や死生観等について語りました。

《関連イベント》

●ギャラリートーク

【日時】2月23日(日)午後2時〜3時40分
 【場所】福井県立美術館第4展示室
 【講師】西村直樹(福井県立美術館館長学芸員)
 【参加人数】19名



出店久夫(桃畑)1970(昭和45)年



出店久夫(サブイメージのマキエと高橋)1983(昭和58)年



北ノブツ(作家)1975(昭和50)年



右:出店久夫(インスピレーション)1975(昭和50)年

出店久夫は1945年、戦後の年に福井県丹生郡越前町に生まれた。日本海に囲まれた越前町には、戦後間もない頃、海岸に漂着する機雷の不発弾が多くあった。当時、機雷を促すピラや食料を入れた筒状のものと一緒に、機雷を叩いて吹き飛ばされて死んだ何人かの子どもの姿がいたという。また小学校1年生の時には、自身の妹も病で亡くしている。出店は答えてくれた。「幼い頃、死は常に身近にあった。また村役場に機雷の写真が貼り出されたり、そういうのが僕の原風景としてあるように思うんです。それに、福井の海の霧さ、船色の冬の海が懐きついています」と。その原風景とともに、現在も出店の脳裏に残ることがある。姉が小学校入学前4〜5歳の頃に、日浜で神隠しにあり、村中で捜索する中、山々の木々が轟々と鳴り、姉が突然笑い返ってきたという。こうした事象の数々が出店の感性をかたちづけた。

京都に移住し、中学生となった出店は、2年生の春に悪性カリエスとなり、3年間休学する。手術の為に入院し、8人部屋で大人に囲まれて生活。そこでの体験がアーティストとなる要因となった。「死を前にすると、大の大人でも泣き叫び、救いを求めるのだ。それならば、私は死ぬ瞬間まで好きなことをやろうと」。高等学校で絵の基礎を学び、上京した出店は写真技師として働きつつ、夜は、再生3郎氏、山口長男氏が指導する新宿美術研究所に通い、鬱屈した心情を油彩によって、シュルレアリスム風の作風で表現した。

その後本格的に絵画を学ぶべく渡欧。スペインの国立

出店久夫

西村直樹(福井県立美術館学芸員)

アカデミーで学び、精密な写実によるリアリズムを学ぶ。その強烈なリアリズムは対象の表層を貫くほどであったが、やがて幻想性の追求へと興味に移っていく。「かつては古典技法にて油絵を描いていましたが、自分に合った表現を求め、色々と試してみました。1985年〜86年のフォトコラージュが現在の作風への突破口となりました」と出店自身が語るように、80年代半ばより、写真のコラージュによる制作に移行。写真技師としての経験を活かし、様々な特殊技法を用いて繊密な幻想性が醸立つ異色の作品を生み出していくことになる。彼は周辺の物体や人物などを身近なモチーフから、思い出の場所、自らが制作したオブジェまでも自ら撮影。それらを集積、拡大、増幅させるなどの要素を加え、左右対称、上下反転に組みあわせて、彩色し、独特の異世界を創り上げていくことに成功する。その表現は、見るものの心の奥底にしま込まれた潜在的なイメージを呼び起こす。未見なはずなのに既視感を伴うこの不可思議なリアリティはどこからきたのだろうか。

出店は語る。「私は、幼き頃より、幻想的なものに心引かれる気質でした。そうしたこともありシュルレアリスムの影響が強いですが、同時に人の死を感じることも多い人生でした。制作する際には自分が持つ死生観を意識し、個人的な視座を大事にしています。私にとって作品を制作することは、生まれてから感じてきた喜びや楽しみといったものを等価値にフォトコラージュで表現することにによって、身体の内にとろけていく誕生から消滅までの命の再生を楽しみ味わっていく自己確認の方法なのです」と。

HISAO DEMISE



出店久夫(0654)56私風景No.31 1986(昭和61)年

出店久夫(コラージュ)2002-私風景山景117 2002(平成14)年

出店久夫(肖像等四部曲)2008(平成20)年



出店久夫(田舎の風景)2011(平成23)年



出店久夫(花の少年)2010(平成22)年



出店久夫(コラージュ)2016(平成28)年

手塚雄二展 光を聴き、風を視る

令和元年
9/6(土) ▶ 10/6(日)

福井県立美術館では、9月6日から10月6日まで、手塚雄二特別館長の画業40年を振り返る展覧会を開催しました。作品数は本画と素描を合わせて169点！全室を使った大規模展示が話題を呼び、多くの方にご来場いただきました。現代日本画をリードする作家の歩みを、その代表作から迫る大河展として、非常に意義深い展覧会となりました。本展開催にあたり、多大なご協力を賜りました皆様に対し、心より御礼申し上げます。

主催：福井県立美術館、日本経済新聞社
共催：福井新聞社、FBC



《関連イベント》

●手塚雄二特別館長によるアーティストトーク

[日 時] 令和元年9月6日(土)
午後1時半～
[場 所] 展示室内
[講 師] 手塚雄二
(当館特別館長)



●ブロガーナイト

[日 時] 令和元年9月7日(日) 午後5時半～
[場 所] 展示室内
[案 内] 榎野晃史、前田晴織(当館学芸員)

●プレミアムナイトツアー

[日 時] 令和元年9月14日(日)、22日(日) 午後5時～
[場 所] 講堂・展示室内
[出演者] 14日：高橋雅紗氏(琴)
徳巻剛久実氏(琴)
22日：浅川由美氏(フルート)
平岡愛子氏(マリンバ)



●学芸員によるギャラリートーク

[日 時] 令和元年9月15日(日)、29日(日) 午後2時～
[場 所] 展示室内
[講 師] 榎野晃史(当館学芸員)

●トークサロン「光を聴き、風を視る話」

[日 時] 令和元年9月15日(日) 午後5時～
[場 所] 美術館喫茶室ニホ
[講 師] 榎野晃史(当館学芸員)

●日本画の巨匠・手塚雄二の絵画と 福井の食を楽しむ会

[日 時] 令和元年9月20日(金) 午後7時～
[場 所] ユアーズホテル 2階 桜の間
[主 催] 「手塚雄二の絵画と福井の食を楽しむ会」実行委員会



●記念鼎談「手塚先生に聞きたい10のこと」

[日 時] 令和元年9月21日(土) 午後2時～
[場 所] 講堂
[登壇者] 佐藤誠徳氏(東京藝術大学教授)
手塚雄二(当館特別館長)
榎野晃史(当館学芸員)



●見どころ解説会

[日 時] 会期中の土・祝日 午前10時～
[場 所] 講堂
[講 師] 榎野晃史、前田晴織(当館学芸員)

Reborn2 変革と新時代III

コレクション展

絵画の変革！ 江戸から明治へ

令和元年
11/16(土) ▶ 12/25(水)

主催：福井県立美術館

本展では江戸時代に御用絵師として兩壇に君臨した狩野派が、明治維新を経て「日本画」をつくるまでの流れを館蔵品から辿りました。江戸狩野から始まり、時代の架け橋となった狩野芳崖や橋本雄邦、そして彼らの薫陶を受けた次世代の画家たちまで、作品を通じて絵画の造形的な変化をご覧いただきました。本展の開催にあたり、貴重な作品をご出品いただきました所蔵者の皆様にも、厚く御礼申し上げます。

狩野派の終わり、
日本画の始まり

《関連イベント》

●学芸員によるギャラリートーク

[日 時] 令和元年11月23日(土)、12月7日(日)
午後2時～
[場 所] 展示室内
[講 師] 榎野晃史(当館学芸員)

●ミュージアムコンサート 「雅楽を聴く～日本の音楽と絵画～」

[日 時] 令和元年12月14日(日) 午後2時～
[場 所] 講堂
[出演者] 福井県雅楽会
(大瀬兼宗氏、大瀬雅樹氏、大瀬和憲氏)

●ミュージアムコンサート 「雅楽を聴く～日本の音楽と絵画～」

[日 時] 令和元年12月14日(日) 午後2時～
[場 所] 講堂
[出演者] 福井県雅楽会
(大瀬兼宗氏、大瀬雅樹氏、大瀬和憲氏)



●トークサロン 「狩野派の終わりと日本画の始まりのお話会」

[日 時] 令和元年12月14日(日) 午後5時～
[場 所] 美術館喫茶室ニホ
[講 師] 榎野晃史(当館学芸員)

Reborn2 変革と新時代IV

コレクション展

岩佐又兵衛

令和2年
1/3(金) - 2/2(日)

主催：福井県立美術館

本展は江戸時代初期に個性作風で活躍した福井ゆかりの絵師、岩佐又兵衛と息子の勝重、そして孫の勝重をはじめとする当館が誇る岩佐派コレクション、および特別出品品を含む計58点を一挙公開しました。

新時代を描いた
奇想の絵師

《関連イベント》
一挙公開！

●学芸員によるギャラリートーク

[日 時] 令和2年1月4日(土)、1月26日(日)、2月2日(日)
午後2時～
[場 所] 展示室内
[講 師] 戸田浩之(当館学芸員)
[参加者] 計107名

●講演会

[日 時] 令和2年1月11日(土) 午後2時～3時30分
[場 所] 講堂
[講 題] 「若き日の又兵衛―前半生の活動と作品―」
[講 師] 熊井忠仁氏(京都大学准教授)
[参加者] 120名



福井県立美術館

友の会

〈令和元年度 秋の見学会〉

日時◎令和元年10月31日(木)～11月2日(土) 参加人数◎27名

行き先◎宮城県立美術館「ストラスプール美術館展」および常設展

秋田県立近代美術館「若沖と都の美術—京都 細見コレクション清華—」展および常設展

秋田市立千秋美術館「永青文庫所蔵 近代日本画の名作」展および常設展

秋田県立美術館「キスリング展—エコール・ド・パリの巨匠—」および常設展

青森県立美術館「コレクション展」

恒例の友の会秋の見学会は、2泊3日の日程で宮城・秋田・青森、東北3県5つの美術館の展覧会を鑑賞しました。友の会で秋田と青森の美術館を訪れるのは今回が初めて。展覧会は日本や西洋の時代や分野も幅広い内容で、同時に各館の個性あふれるコレクションと建築も堪能できました。期間中雨に降られることもなく、また一足早い紅葉を眺めることもできました。もちろん美術館以外にも蔵美溪や小岩井農場など土地の名所や食べ物も堪能、東北の豊かな美術と風土を楽しむ充実した3日間でした。



秋田県立近代美術館前での記念撮影

次回展覧会のお知らせ

コレクション展

「新収蔵品展

—多彩な絵画が

仲間入り—」

[会期] 令和2年

4月18日(土)～5月24日(日)

令和元年度に新しく購入・寄贈・寄託を受けた作品を一堂に展示します。



道儀《寿老人図》(部分)
17世紀(江戸時代)

コレクション展

「版画で楽しむ 世界の物語」

[会期] 令和2年

5月30日(土)～7月5日(日)

版画の小さな画面に凝縮された物語、風刺、旅情など、その豊穡の世界を紐解きます。



ウィリアム・ブレイク《ヨブ記》
1826年



スペシャルメニュー

「桜餅みたいな ミニパフェ」

ニホの春パフェは、桜餅をイメージし、桜の花でアイスクリームを作りました。コーヒーとの相性も抜群です。春の幸せを小さいパフェでお楽しみください。

Contact

美術館喫茶室 二ホ

[open] 9:00～19:00

[closed] 月曜日

tel: 0776-43-0310 *無料Wi-fi*

address:

〒910-0017 福井市文京3丁目16-1

福井県立美術館 正面左手

*美術館が休館でも、月曜日以外は営業しております。

お知らせ

令和2年度 福井県立美術館

実技講座受講生の募集

福井県立美術館では「日本画」「洋画」「素描(デッサン)」「水彩画」の基礎講座(5～7月・10回)と、同内容の専門講座(7～11月・25回)の受講生を募集します。

※詳しくは美術館ホームページ、または館内設置の募集要項をご覧ください。

◎定員

- 日本画(基礎講座・専門講座) / 定員15名
- 洋画(基礎講座・専門講座) / 定員15名
- 素描(デッサン)
 - ・水彩画(基礎講座・専門講座) / 30名

◎募集期間

- 基礎講座 3月8日(日)～4月10日(金)まで
- 専門講座 5月1日(金)～5月31日(日)まで

令和2年度 福井県立美術館 友の会会員募集

詳しくは、事務局 (TEL.0776-25-0452) までお気軽にお問い合わせください。

年会費 一般会員 2,000円 / 家族会員 4,000円 / 特別会員 10,000円

- 特典
- (1)コレクション展・テーマ展無料
 - (2)友の会ニュース・美術館だよりの無料配布
 - (3)美術展・実技講座・美術講座・見学会等各行事の案内
 - (4)美術館の主催する企画展の入場料の割引(2割引)
 - (5)一般会員：年間に1枚の企画展無料入場券
家族会員：年間に3枚の企画展無料入場券(展覧会は自由に選べます)
特別会員：年間に8枚の企画展無料入場券+年間に1枚の図録贈呈券

申し込み 4月6日受付開始 ※昨年度までの郵便振替・口座振替によるお申し込みはできません。

◎4月～5月の
休館日について

館内メンテナンス、展示替え等のため、下記の日程は休館とさせていただきますのでご了承ください。
4月1日(木)～17日(金)、5月25日(月)～29日(金)